

食 × 歩

平成 24. 8. 17

ウォーキングカフェ「ippo」

楽しみ健康増進

町NPOと湯梨浜にあすオープン

地元素材で作る健康食とウォーキングエクササイズが楽しめる「ウォーキングカフェ」が18日、湯梨浜町南谷の東郷池のほとりにオープンする。鳥取県中部を「ウォーキングリゾート」として開発するプロジェクトの一環としてNPO法人未来(岸田寛昭理事長)と湯梨浜町が共同で開設。健康には欠かせない「食」にこだわり、ウォーキングの情報発信やウォーカーが集まる拠点を目指す。



18日にオープンする日本初のウォーキングカフェ＝湯梨浜町南谷

年齢を問わず気軽に楽しめるスポーツとして人気が高まりつつあるウォーキング。県内でも各地でウォーキング大会が開かれており、同NPO法人が12年間運営を続けてきた「未来ウォーク」はことし、日本マーチングリーグに加盟した。加盟により県外からの参加者は昨年の400人から1200人へと3倍となり、全国規模の大会となっている。

同法人は、ウォーキングは「健康・観光・交流・環境・教育」につながるとして、ウォーキングに関する拠点施設の設置を検討し、開設にこぎ着けた。県中部では今後もノルディックウォークの大会開催や学会などの誘致が進められていることから、「日本初」のウォーキングカフェの存在は注目を集めそうだ。

店名は「café ippo」。フードプロデュースは東京在住の家庭料理研究家の高窪美穂さんが担当する。スタッフらは高窪さんの自宅で合宿するなどオープンに備えている。

天然素材100%をつかったメニューは倉吉市関金町産のそば粉を使ったガレット、パスタ、オリジナルドレッシングサラダ、ドリンクなどで、健康に配慮した食が登場する。料理スタッフの中には神戸市からUターンしたパティシエもおり、スイーツにもこだわった。スタッフのうち2人はノルディックウォークのインストラクターの資格を持ち、ウォーキング教室の指導などに当たるのも特徴。ノルディックウォークに使うポールや自転車も貸し出す。

山崎綾香店長(24)は「こだわりのある食を提供し、地元の人に愛される拠点になりたい。ウォーキングをもっと盛り上げていきたい」と話している。

「café ippo」の営業時間は午前11時から午後7時まで。定休日は火曜日。電話08558(35)6161。